

令和6年度第1回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）（案）

1. 開催日時 令和6年10月2日(水)午後3時30分から4時30分まで
2. 開催場所 文化センター2階かおりホール（中ホール）
3. 出席者 中里会長、上田副会長、野崎委員、橋本委員、
事務局：高花センター長、岸下主査、西口主任主事
4. 欠席者 駒井委員、根本委員
5. 傍聴者 2名
6. 議題 1 令和5年度の事業報告について (公開)
2 令和6年度事業実施状況について (公開)
3 その他 (公開)

7. 配布資料

- 資料① 令和5(2023)年度事業報告
- 資料② プラネタリウム来館者集計(令和5年度)
- 資料③ 令和6(2024)年度事業計画

8. 会議での確認・承認事項

- ①令和5年度事業結果の確認
- ②令和6年度事業経過の確認

9. 議 事 以下のとおり

	<p>始めに、高花センター長から、令和6年度より、行政組織の改編によりプラネタリウムが「生涯学習課学芸係」から「文化センター郷土・プラネタリウム班」へと所属が変わったことの報告と挨拶。</p>
事務局	<p>議題1 令和5(2023)年度の事業報告について</p> <p>事務局より、前回の会議(令和6年2月13日)以降に行った事業の報告と、令和5年度事業の総括を伝える。</p> <p>資料①「令和5(2023)年度事業報告」</p> <p>資料②「プラネタリウム来館者集計(令和5年度)」参照</p>
事務局	<p>令和5年度の来館者数について、令和4年度と比較しながら説明を行う。</p> <p>令和4年度と比べて、アストロアワー371人増、ロイ君アワーは314人減。ロイ君アワーの減は、投映回数が令和4年度に比べて11回少なかったことが原因と考えられる。令和4年度は、コロナの感染拡大を避けるため、人数制限を行ったが、その分投映回数を増やしていた。</p> <p>学校と幼児団体投映の人数は、合わせて約500人減。少子化が進んでいることと、限られた時間枠で、希望する時間の予約が取れなかった園があったため。</p>

	<p>観望会事業は 400 人減。大きな天文現象がなかったことが大きい。</p> <p>講座・講演会の人数は約 300 人減。職員 1 名が病気休暇を取得し、担当していた講座の回数の減による。</p> <p>ライブコンサートは約 300 人増。コロナによって減らしていたライブの回数を増やしたため。</p> <p>総括すると、令和 4 年度と比べ令和 5 年度は、来館者数は約 1000 人減だが、歳入は約 10 万円増となった。</p>
●●	人数が減ったが歳入が上がっているというのは、料金が上がったということか。
事務局	無料や、減免のある学習投映で約 500 人減、無料の観望会で 400 人減の一方、単価の高いライブコンサートの人数が増えたため。
●●	幼稚園の入園者数もかなり減ってきている。減ってしまうのはどうしようもない。歳入は増えてはいるので、その点に力を入れてほしい。
●●	昨年、職員が一人休みになり、投映回数や事業が縮小されたが、今後の職員の入れ替わりを考えると、新しい人材を育てる必要がある。イベントの担当がいなくなったら、そのイベントは中止というのは、館としていい方向ではない。
事務局	昨年度は突然の事だったため、講座の数を減らすことで対応したが、現在引き継ぎを行うと共に、事業内容の検討を行っている。
●●	令和 5 年度について、他にあるか。 では、令和 6 年度の事業経過についてお願いします。
	<p>議題 2 令和 6(2024)年度の事業実施状況について</p> <p>事務局より令和 6 年度 9 月までに事業実施状況について伝える 資料③「令和 6(2024)年度事業計画」参照</p>
事務局	<p>今年度は、開館 30 周年ということで、様々な事業を企画した。30 周年事業について説明を行う。</p> <p>一般投映ロイ君アワーの 30 周年記念番組「30 つくしクイズ」が、9 月にスタートした。「30」にちなんだクイズ 5 問で、子どもたちと一緒にプラネタリウムをお祝いしていく。クイズの例として、「30 メートルのドームはどれか」というクイズがあって、愛媛総合科学博物館、多摩六都科学館、白井市のドーム 3 つから拍手で選択してもらう。どの館もちょうど今年開館 30 周年で、みんなで 30 周年をお祝いしようという雰囲気になる。子どもたちもクイズを楽しんでいる。</p>

一般投映アストロアワー「30光年の時間旅行」は、9月に終了したばかりである。こちらは過去30年間の天文現象、宇宙開発などを一気にスライドと共に解説していく。ご覧になったお客様が投映後に、天文現象やプラネタリウムについて、懐かしく語ってくれることが多かった。

「謎解き」は、5月の連休中3日間で、80組187名の方たちが参加。結構難しい内容で、成功率は約50%だった。アンケートを見ると「難しいけれど楽しい」という感想が多く好評だった。そこで、9月から令和7年3月まで毎月追加投映を行うことにした。9月の追加投映には7組20名の方たちが参加した。

令和6年度事業の令和6年9月までについて、資料に添って説明する。

2 ページ目

今年6月から、学習・幼児団体投映への一般客の入場を可とした。(センターだよりに案内の一文を入れた)現在土日を中心に2回づつ行っている「どなたでも学習投映」を来年度は1回にしようと考えている。

3 ページ目

「にんさんぷプラネタリウムwith図書館」は、今年度3回行い、各回2~4名の参加者だった。これは子育てを応援するという意味で行っているのでも、中止はしないが、もう少し来館者数を増加できるように考える。

4 ページ目

「ハンドパン」のライブコンサートを初めて行い、82名が来館した。スチールでできた丸い楽器を手で叩いて音を出すのが、こんな透き通った音が出るのか、珍しいと、好評だった。

5 ページ目

天体観望会「スピカ食を見る会」は、望遠鏡を出し待機していたが、曇り空で見られなかった。25名ほど参加者があつたが見られず残念だった。

5月5日の「火星食を見る会」は、昼間に火星を見るのが難しく、写真には火星食の瞬間が写っていたが、プロジェクターで見ていた人はわからなかった。

6 ページ目

「スター・キッズ・クラブ」開催予定3日前の9月18日に、文化センターの水道管が破裂し、トイレと、エアコンが使用不可となった。そのため19日と20日の2日間センター全体が休館となった。当初の予定より早く修理が終わり、21日は開館できたが、スターキッズクラブは、別日に振り替えることにした。センター休館により、当初予定されていた幼児団体投映、星空ジャズアワー各1回が中止。学習投映1本が延期となった。

今年、開館30周年だが、今後もこの様なことが増えてくることも考えられる。

次に、30周年事業にも挙げている、郷土資料館・プラネタリウム館合同講座「あの夜の事件簿」は、白井に伝わる古文書に書かれたある夜の事件が、どのような晩に起こったのか再現するという内容であった。3つの事件の内容が語られたのだが、星

	空を再現することで、よりリアルに当時の人々の様子を想像することができた。普段プラネタリウムに足を運ばないような人も参加した、良い企画であった。
●●	令和6年度事業について、何か質問や意見はあるか。
●●	昨年度や、一昨年度と比べてイベントがたくさんあり、嬉しく思う。
●●	郷土資料館とのコラボは良かった。継続的に年に1回は行ってほしい。
●●	謎解きに参加する年齢層は？
事務局	中学生以上対象で、30代から40代が多いように感じた。中学生だけで来たグループもあった。普段少ない年齢層が来た。中には、謎解きを目指し、東京から来た方もいた。普段プラネタリウムに来ない多くの人の注目を集めた。
●●	こういったイベントで、星に興味のなかった方も来られているようでよかった。
事務局	謎解きは、星の知識がなくても全部解けるようになっている。必ずヒントがあり、謎解きを目的で来た人は、星の知識も学べるようにできていて、それがすごく良かったという感想もあった。
●●	今年7月に、船橋市のプラネタリウムがリニューアルオープンしたが、白井に影響はあるか。
事務局	8月の一般投映の来館者数が200人程少なかったが、影響しているかわからない。
●●	にんさんぷらネタリウムの参加人数が少ないが、今後も続けてほしい。お母さん同士の集まる場は、児童館等いろいろあると思う。どう知らせるか重要。
事務局	お知らせは、ホームページやチラシ。チラシは図書館や、健康課を通じて、妊産婦検診時にも配布している。
●●	内容に、もっと特徴を持たせ、興味を持ってもらえるよう検討してはどうか。もう1点。各事業に担当者がいて、いろいろと企画しているのが分かる。
事務局	白井で、これだけいろいろな企画ができるのは、それだけの企画を立てられる会計年度任用職員がいるおかげである。

<p>●●</p>	<p>令和6年度事業報告について、何かあるか。 では次の議題、「その他」をお願いする。</p> <p>事務局より、まず9月の水道管破裂についての報告を行う。 次に大規模修繕計画について説明を行う。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年の4月から、センター内に大規模改修準備室という部署ができ、2名が着任した。今年度と来年度の2カ年で大規模改修の基本計画を策定する予定である。運営協議会委員の会議の中でいくつか協議したい事案が出たら議題として入れるので意見を伺いたい</p>
<p>●●</p>	<p>どこの部分を改修するかなど、細かいことはこれから話が進むのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>これから、どこを、どう改修していくかを定める計画を策定する。 例えば、老朽化している設備を更新したり、バリアフリーを進め、車椅子用トイレを大きくするとか、そういった基本的な設備面が一つ。文化センターについては、規模縮小であるが全館継続という方針が出ているので、それに沿ってどういった形で改修していくのがいいのかを検討する。</p>
<p>●●</p>	<p>当館も30年が経ち老朽化が進んでいる。プラネタリウムもそうだが、郷土資料はカビが生えたら取れないという。この先大規模修繕予定を立てたけが、予算がないため先送りになるかもしれないが、取り返しのつかないことにならないように。</p>
<p>●●</p>	<p>他に意見はあるか。では、全体をとおしてご意見のある方どうぞ。</p>
<p>●●</p>	<p>私は、スポーツ少年団の指導を行っており、クラブのイベントで、プラネタリウム行く企画を立てたことがある。そのようなスポーツ団体にも、プラネタリウムに来てもらえるような資料、団体投映の案内が欲しい。また、老人ホーム等、平日の団体投映を増やすことはできないか</p>
<p>事務局</p>	<p>老人ホームやデイケアサービスの団体は、とても増えている。しかし、団体として入る場合12~3人ぐらいの少なめの団体が多い。更に少人数の団体の場合は、通常の一般投映に手帳を見せて無料で入ることが多い。ちなみに、身体障がい者手帳を使って一般投映を無料でご覧になれる方は年々増加しており、令和3年度は80人、令和4年度は200人。コロナがあけて昨年度は341人。今年度は現時点で226人となっている。スポーツ団体さんの貸し切り投映は少ない。</p>
<p>●●</p>	<p>自分は、プラネタリウムに興味があるので、皆で行こうとしてもなかなか「うん」と言</p>

	<p>わない。子ども達や、小さな子連れのお母さんたちも、自分たちだけの時間を取ってもらえると、周りに気兼ねがないので喜ぶ。プラネタリウムで団体投映ができる資料があると案内がしやすい。</p>
事務局	<p>プラネタリウムに興味のない団体呼び込むのは難しい。相手とコラボ企画をするという方法もある。しかし、また事業を増やしてしまうことになる。</p>
●●	<p>団体も、1つだと人数が少ないが、同じような団体が何団体か集まって、投映を見る枠をつくると良いのではないか。一般の人に気兼ねなくみられるのは良い。市でいろいろな団体を把握していると思うので、そこに声をかければよい。</p>
事務局	<p>団体用のチラシ、パンフレットを検討する。</p>
●●	<p>新しい団体が増えることを望む。他に意見はあるか。</p>
事務局	<p>一般投映の入場者数、特に市内の人を増やすアイデアはないか。プラネタリウムは子どものイメージが強いのか？</p>
●●	<p>東大和市のプラネタリウムも減っている。番組がおもしろくないわけではなく、今はコロナが収まり、他の場所に行ったと考えている。</p> <p>団体は、デイケア団体が多い。夏休み中は、デイケア用の団体枠をつくっておかないと、一般投映がいっぱいになってしまう。しかし、土日祝日は、一般投映があるので、団体枠は早い時間や遅い時間になってしまい、取るのも難しい。</p>
●●	<p>プラネタリウムが子どものための施設というイメージはない。自分は、星を見るのも、音楽も好きである。白井は、星空ジャズアワーやライブコンサートなども開催しているので、「星と音楽」とか、「星となになに」という風に、自分の興味と結び付けて、白井のプラネタリウムに興味をもっている大人は多いのではないか。</p>
●●	<p>子どもが家に帰って家族と話をする時、少しでも星の話題が出ると良い。中学では3年生の12月にしか天文に触れないが、すぐ見られる天文情報を、専門の方から、写真や映像、パワーポイントで1枚程でよいので、小中学校にメールで送ってもらえたら、クラスでスライドが見られるので、学校の先生は授業の最初の5分だけでもそういう天文の話題に触れる。そうしたら興味ある子は、家に帰って、お家の方に話すので、それなら、プラネタリウム行ってみようかなって広がっていく。子どもがいる家庭は多い。しかも地学分野が苦手な先生は助けてほしいという気持ちもいっぱいあるので、そういう情報は喜ばれる。</p>

<p>事務局</p> <p>●●</p>	<p>パワーポイントで送ったら、先生方が話してくれるのか？</p> <p>スライド1～2枚でも大丈夫。しかも白井市内外一緒の先生たちのグループがあるので、そのグループの人たちに、こういう取り組みをプラネタリウムで始めました。こういうのを月1回くらい送ってくれるので、キャッチして、活用してみてくださいと頼んだら、全ての学校とは限らないが、やってくれる。そこで、ちょっとしたスライド、彗星大接近とか、少し教えていただけるだけでいい。</p>
<p>事務局</p> <p>●●</p> <p>●●</p>	<p>スライドは、メールで送るのか。</p> <p>教育支援課からのメールは毎日見ているので、教育支援課から送ってもらえれば、すぐ授業に持っていける。</p> <p>今、小中学校で、皆さんタブレットを持っているが、それで教科書についているQRコードを読み込み、解説を読んだり、調べたりしていると聞いた。中学生向けに定期的にQRコードの配信みたいなことはできないか。</p>
<p>事務局</p> <p>●●</p> <p>●●</p>	<p>すごくいいと思うが、資料作成が大変。</p> <p>当館で集客を増やす方法として、大変であるが、中・高生の発表をプラネタリウムで行っている。小学生が発表を行えば、その保護者が来る。</p> <p>白井の子どもの数が減っているのは実感しているが、市の全体の人口はどうか？</p>
<p>事務局</p> <p>●●</p> <p>●●</p>	<p>出生者数より、死亡者数の方が多いので、やや減少している。外国の方は増えてきている。</p> <p>市内の来館者を増やしたいのはわかるが、市外の来館者を増やすことに力を入れてもいいかと思う。</p> <p>何か他に意見はあるか。 ではこれで令和6年度の第1回プラネタリウム運営協議会を終わりとする。</p>